

株式会社椿本チエイン 2021年3月期 通期決算報告

<アジェンダ>

説明内容	説明者	予定時間
・ 2021年3月期 通期決算報告	代表取締役社長 大原 靖	40分

2021年5月31日

2021年3月期 連結業績報告

1. 21年3月期比¹⁾ 連結決算ハイライト

2

■ 前期比で減収減益。

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	予想比 (10月30日公表)	
	通期	通期	増減率	予想値	増減率
売上高	226,423	193,399	▲14.6%	189,000	2.3%
営業利益	16,146	8,896	▲44.9%	8,000	11.2%
営業利益率	7.1%	4.6%		4.2%	
経常利益	16,698	11,026	▲34.0%	9,100	21.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,576	8,706	▲24.8%	6,700	30.0%
1株当たり当期純利益	308.71円	235.23円		181.02円	—
(為替レート 1USD)	108.71円	106.10円		—	—
(為替レート 1EUR)	120.81円	123.76円		—	—
(為替レート 1RMB)	15.77円	15.48円		—	—

	通期実績	通期実績	
自己資本比率	59.3%	60.5%	自己資本/総資産
自己資本利益率(ROE)	6.7%	4.8%	当期純利益/期中平均自己資本
ネット D/E レシオ (倍)	0.06	-0.03	(有利子負債-現預金) / 自己資本

2. 21年3月期比¹⁾ 事業セグメント別業績

3

(単位：百万円)

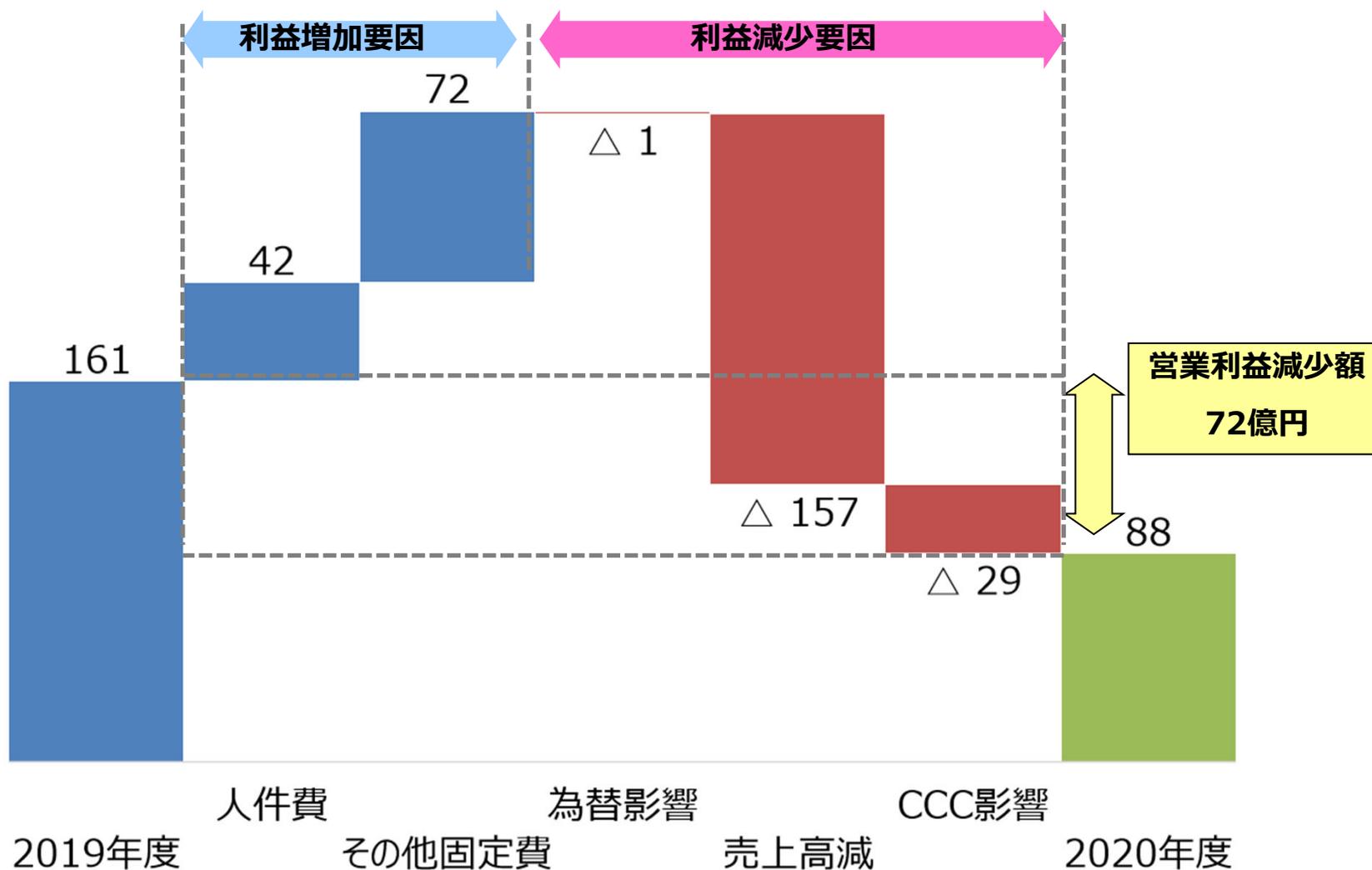
		2020年3月期	2021年3月期	前期比	予想比 (10月30日公表)	
		実績	実績	増減率	予想値	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	67,526	61,312	▲ 9.2%	59,400	3.2%
	営業利益	8,406	7,862	▲ 6.5%	6,090	29.1%
	営業利益率	12.4%	12.8%		10.3%	
精機	売上高 ^{※注1}	23,813	19,697	▲ 17.3%	19,500	1.0%
	営業利益	2,189	816	▲ 62.7%	830	▲ 1.7%
	営業利益率	9.2%	4.1%		4.3%	
自動車部品	売上高 ^{※注1}	70,949	57,777	▲ 18.6%	55,670	3.8%
	営業利益	5,791	3,714	▲ 35.9%	2,440	52.2%
	営業利益率	8.2%	6.4%		4.4%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	64,212	53,618	▲ 16.5%	54,450	▲ 1.5%
	営業利益	647	▲ 2,202	—	240	—
	営業利益率	1.0%	—		0.4%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,542	3,941	11.3%	3,430	14.9%
	営業利益	20	▲ 330	—	▲ 400	—
	営業利益率	0.6%	—		—	

※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※2：「その他」は、報告セグメントではありません。

3. 連結営業利益増減要因分析

■ 2019年度実績 vs 2020年度実績

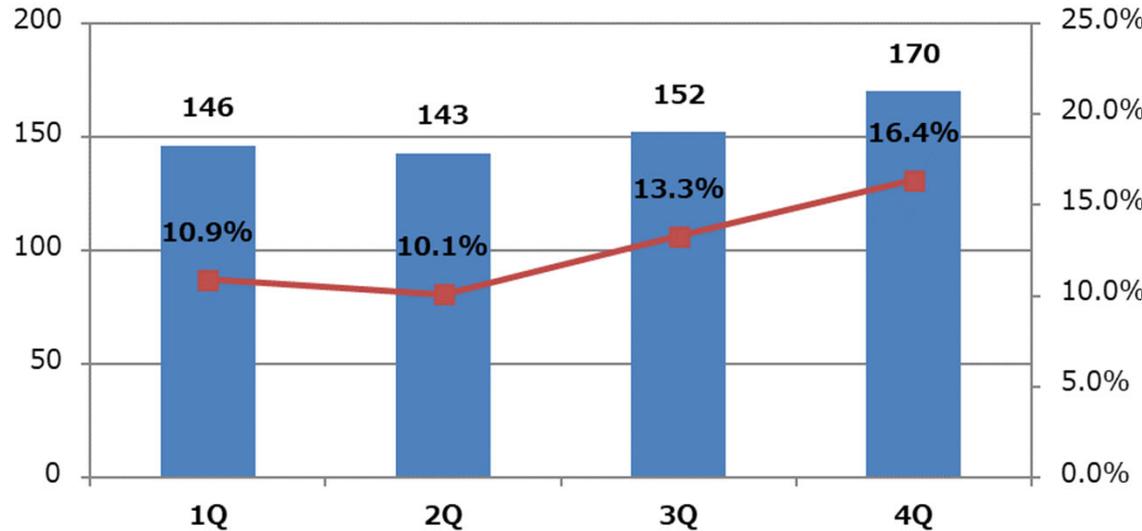


4. 21年3月期比「1- 事業セグメント別業績

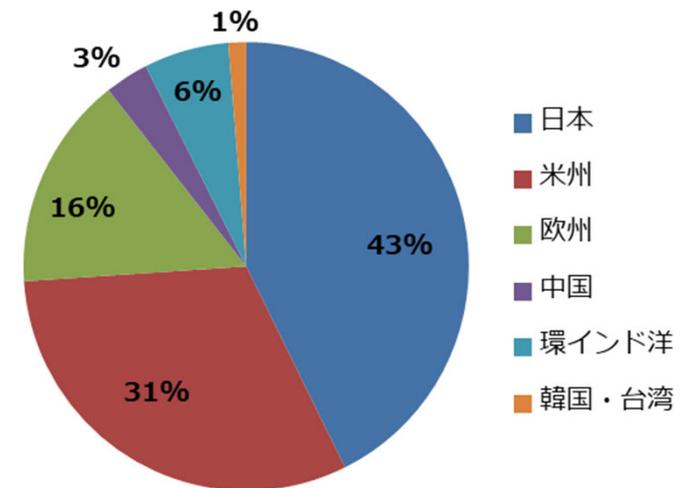
〈チェーン〉 5

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

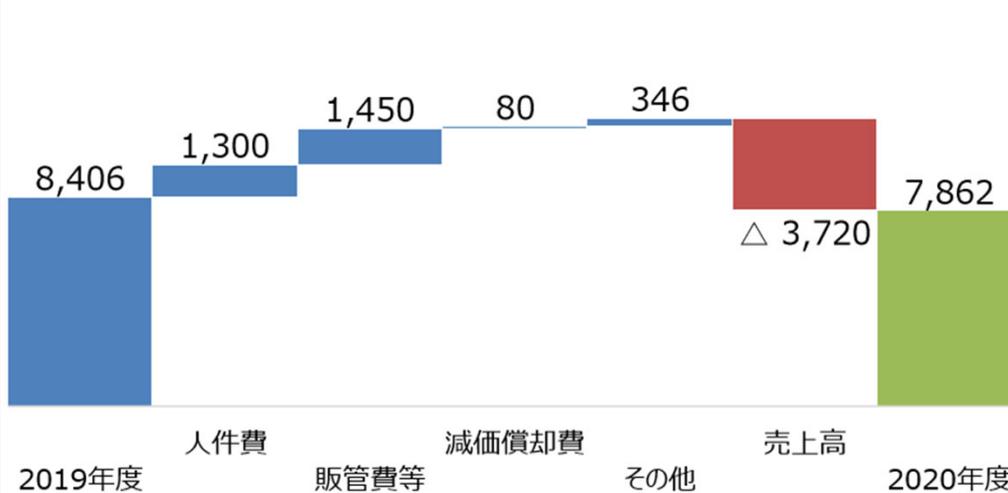


売上高占有率（所在地別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



- ・ 日本：第4Qで前年同期間を上回ったものの、第3Qまでの販売数量減により減収減益。
- ・ 米州：コロナ影響により減収も、新規顧客獲得、コスト削減により増益。
- ・ 中国：下期より販売復調、増収増益。

→全体として 減収・減益も
第3Q以降は回復顕著。

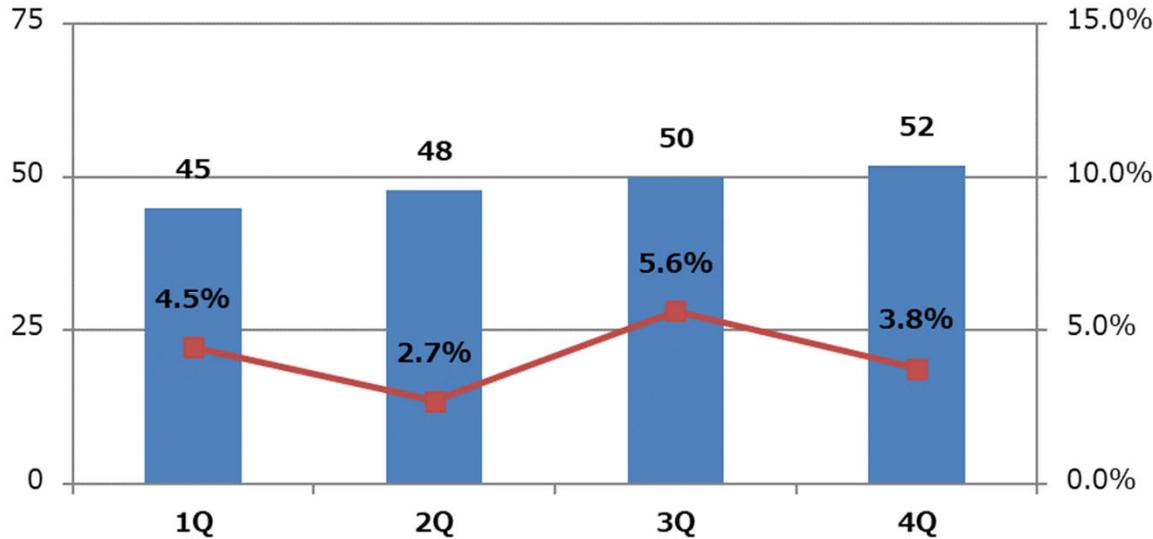
4. 21年3月期比「1- 事業セグメント別業績

〈精機〉

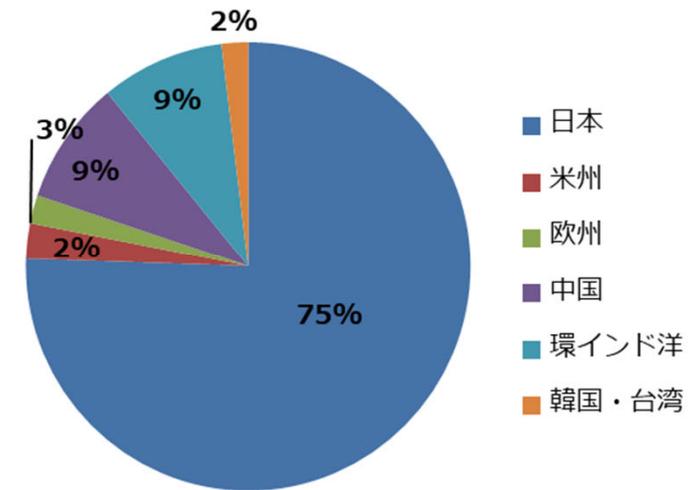
6

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

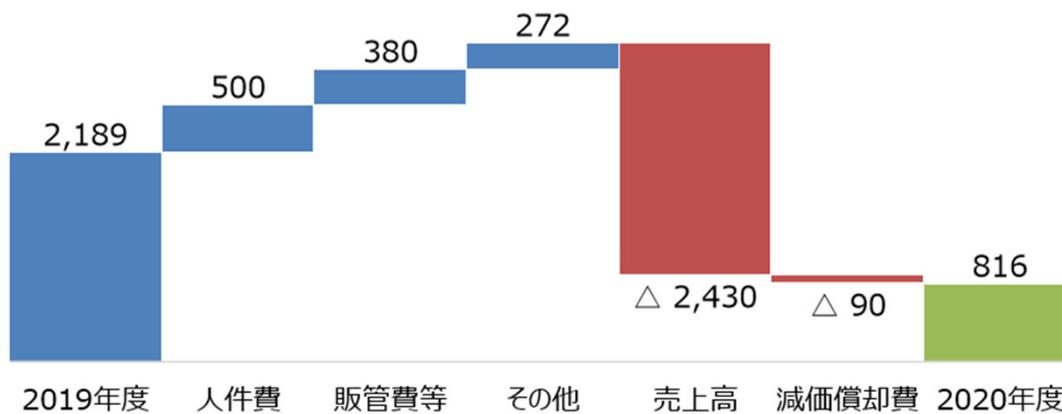


売上高占有率（所在地別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



- ・日本：第2Qで底打ちも、回復鈍く減収減益。
- ・環インド洋：インド向け自動2輪車用カムクラッチの販売低調により減収減益。

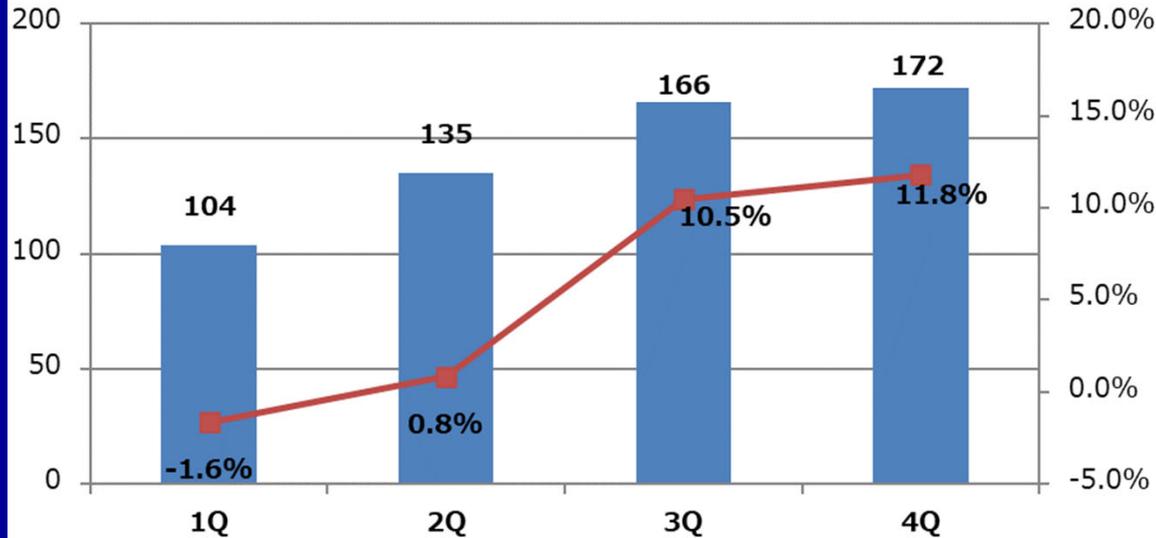
→全体として 減収・減益

4. 21年3月期比¹⁾- 事業セグメント別業績

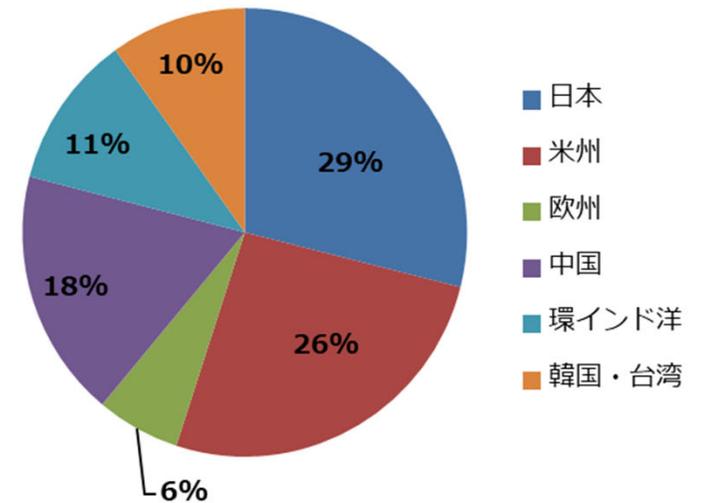
〈自動車部品〉 7

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

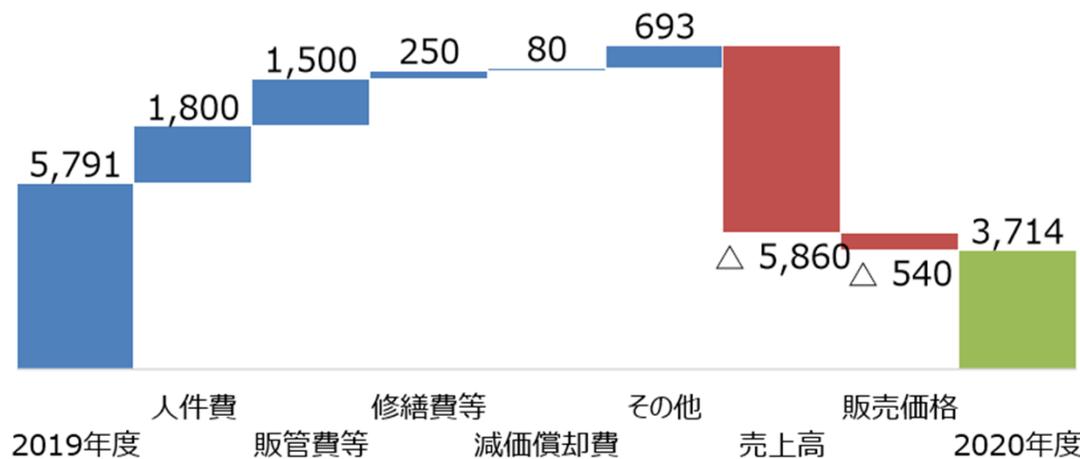


売上高占有率（所在地別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



日本：第4Qで前年同期並みに回復も、第3Qまでの減少により減収減益。
 米州：コロナによる販売減、大型車回帰によるMIX悪化継続も、コスト削減により減収増益。
 中国：販売復調により増収増益。

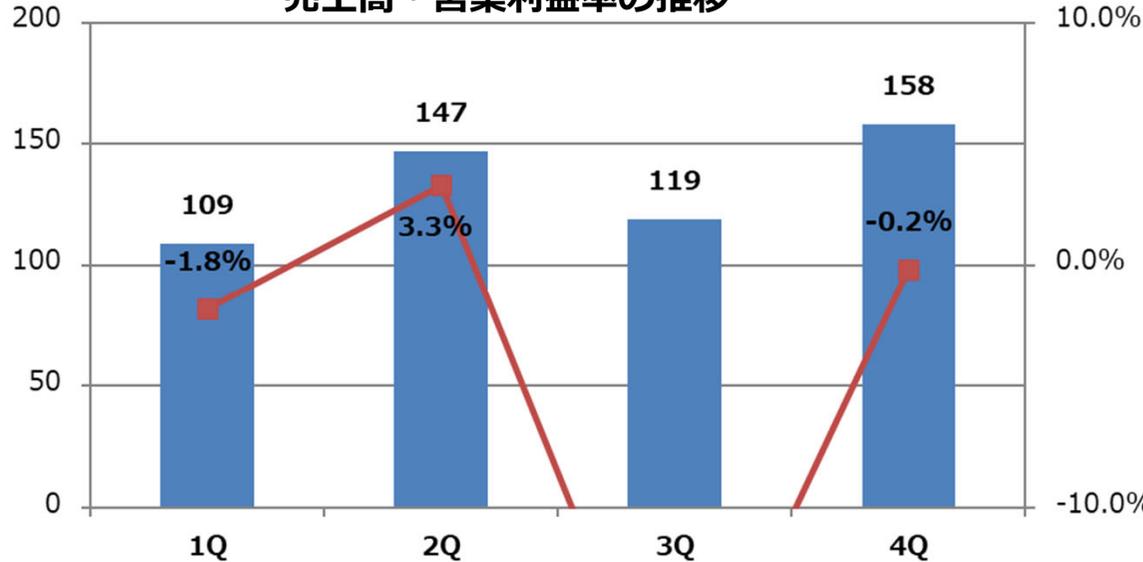
⇒全体として減収・減益。

4. 21年3月期比¹⁾- 事業セグメント別業績

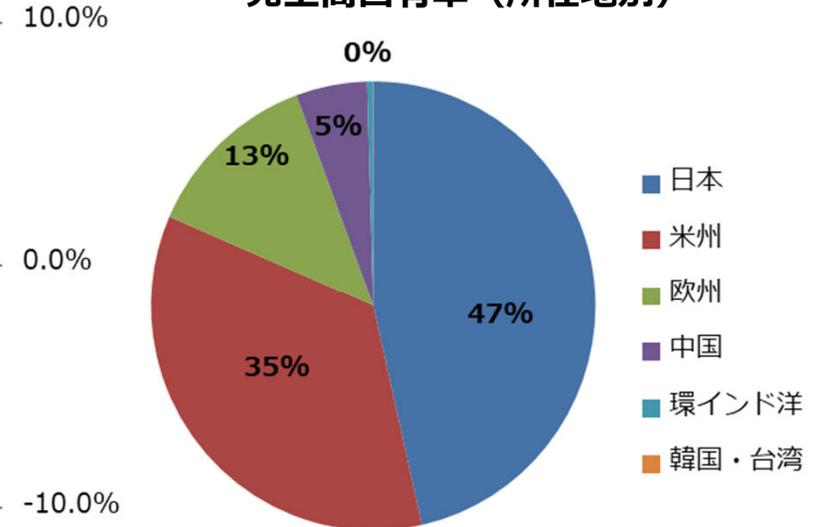
〈マテハン〉 8

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

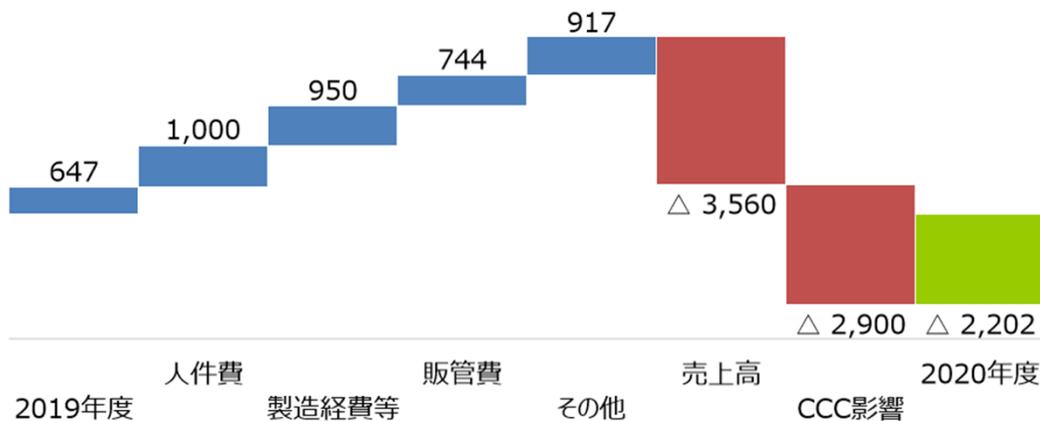


売上高占有率（所在地別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



- ・日本：自動仕分け機、粉粒体搬送設備は堅調維持も大型案件減少で減収減益
- ・米州：大型案件がコロナ影響で損失計上、減収減益。
- ・欧州：不採算事業整理が完了、減収増益。
- ・中国：脱硫脱硝設備向けコンベヤ好調持続により増収増益。

→全体として減収・減益

5. 21年3月期比^{※1}- 所在地別業績

(単位：百万円)

		2020年3月期	2021年3月期	前期比
		通期	通期	増減率
米 州	売上高 ^{※注}	63,371	53,473	▲ 15.6%
	営業利益	1,719	▲ 666	▲ 138.8%
	営業利益率	2.7%	—	
欧 州	売上高 ^{※注}	25,321	20,267	▲ 20.0%
	営業利益	▲ 77	897	—
	営業利益率	—	4.4%	
環インド洋	売上高 ^{※注}	16,639	12,752	▲ 23.4%
	営業利益	1,961	1,215	▲ 38.0%
	営業利益率	11.8%	9.5%	
中 国	売上高 ^{※注}	20,523	19,682	▲ 4.1%
	営業利益	1,069	1,280	19.8%
	営業利益率	5.2%	6.5%	
韓国・台湾	売上高 ^{※注}	9,661	8,054	▲ 16.6%
	営業利益	400	▲ 47	—
	営業利益率	4.1%	—	
日 本	売上高 ^{※注}	120,621	104,416	▲ 13.4%
	営業利益	9,224	4,577	▲ 50.4%
	営業利益率	7.6%	4.4%	

※注：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

<主な実績レート>

	USD	EUR	CAD	AUD	THB	TWD	RMB	KRW	MXN
2019年度	108.71	120.81	81.73	74.10	3.52	3.53	15.77	0.09	5.66
2020年度	106.10	123.76	80.34	76.20	3.42	3.66	15.48	0.09	4.99

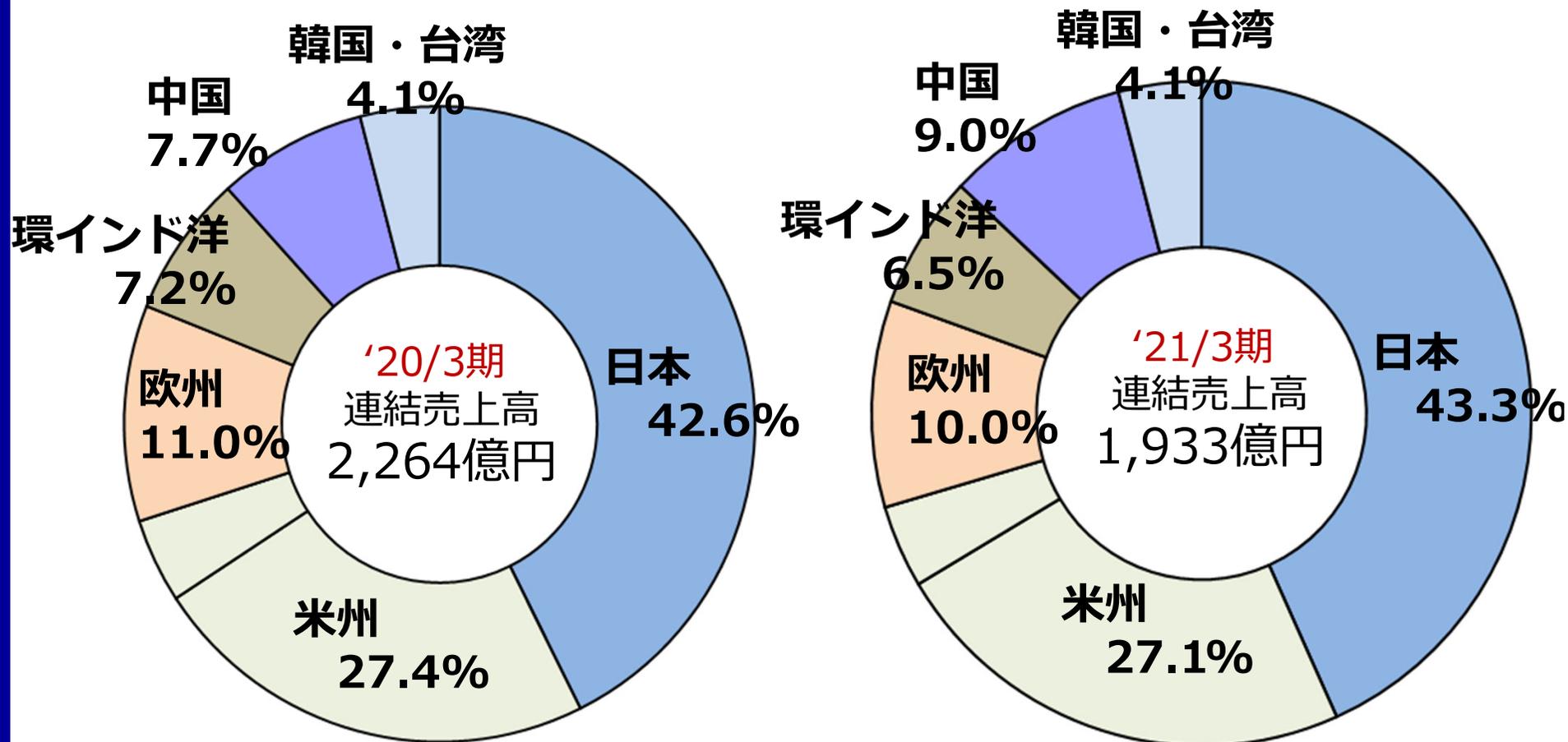
6. 21年3月期比¹⁾- 地域別売上高比率

10

2020年3月期
海外売上高^{*}比率：57.4%



2021年3月期
海外売上高^{*}比率：56.7%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

2022年3月期 連結業績予想

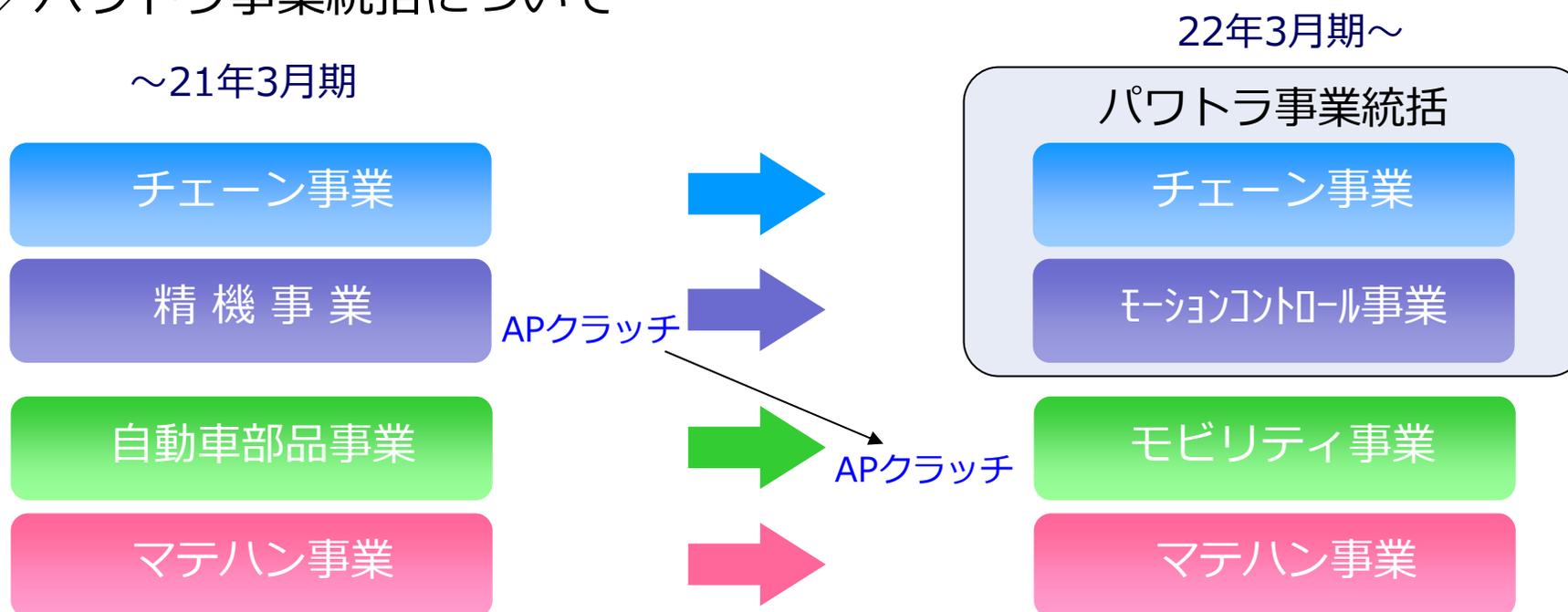
7. 22年3月期 組織変更

12

◇ 組織変更について

- ① 精機事業を**モーションコントロール事業**に改称
- ② パワトラ事業統括の設置（チェーン事業、モーションコントロール事業）
- ③ 自動車部品事業を**モビリティ事業**に改称
- ④ 自動2輪用スタータクラッチビジネス（APクラッチ）を
精機事業⇒モビリティ事業へ移管

◇ パワトラ事業統括について



8. 22年3月期 連結業績予想

13

- 全事業で増収を想定。営業利益はチェーンを除く3事業で増益を計画。

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期			前期比
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
売上高	193,399	107,000	118,000	225,000	16.3%
営業利益	8,896	7,000	9,000	16,000	79.8%
営業利益率	4.6%	6.5%	7.6%	7.1%	
経常利益	11,026	7,700	9,300	17,000	54.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,706	6,000	6,500	12,500	43.6%
1株当たり当期純利益	235.23	162.10円	175.60円	337.70円	—
(為替レート 1USD)	106.10円			107.00円	—
(為替レート 1EUR)	123.76円			130.00円	—
(為替レート 1RMB)	15.48円			16.09円	—

9. 22年3月期 事業セグメント別業績予想

14

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	61,312	33,000	32,800	65,800	7.3%
	営業利益	7,862	3,500	3,200	6,700	▲14.8%
	営業利益率	12.8%	10.6%	9.8%	10.2%	
MC (モーション コントロール)	売上高 ^{※注1}	19,697	10,700	11,400	22,100	12.2%
	営業利益	816	400	900	1,300	59.3%
	営業利益率	4.1%	3.7%	7.9%	5.9%	
モビリティ	売上高 ^{※注1}	57,777	36,000	36,300	72,300	25.1%
	営業利益	3,714	3,800	4,200	8,000	115.4%
	営業利益率	6.4%	10.6%	11.6%	11.1%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	53,618	28,400	37,800	66,200	23.5%
	営業利益	▲2,202	100	1,400	1,500	—
	営業利益率	—	0.4%	3.7%	2.3%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,941	1,100	1,100	2,200	▲44.2%
	営業利益	▲330	▲200	▲100	▲300	—
	営業利益率	—	—	—	—	

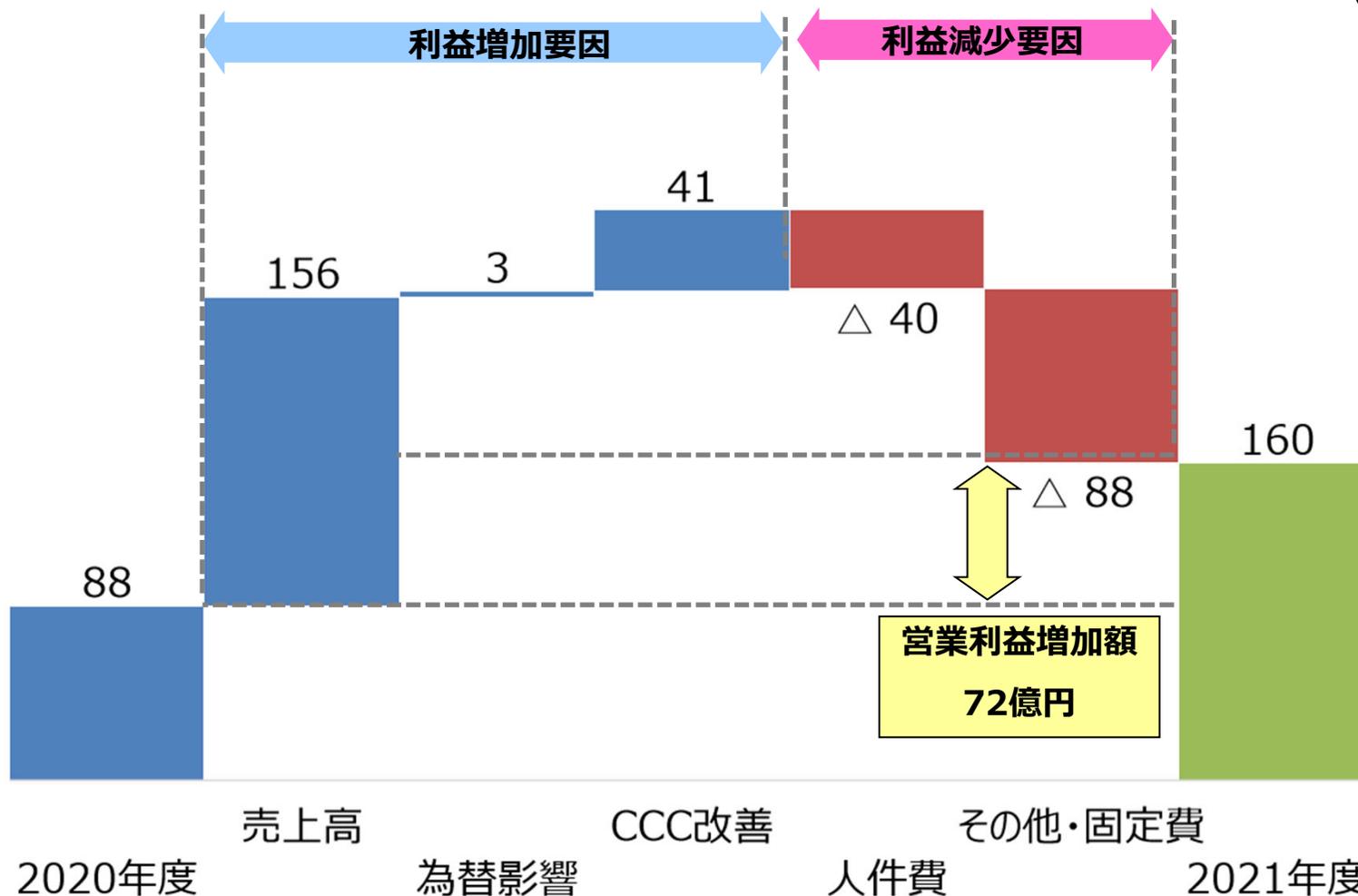
※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※注2：「その他」は、報告セグメントではありません。

10. 22年3月期 連結営業利益増減要因分析

■ 2021年3月期実績 vs 2022年3月期予想

(単位：億円)



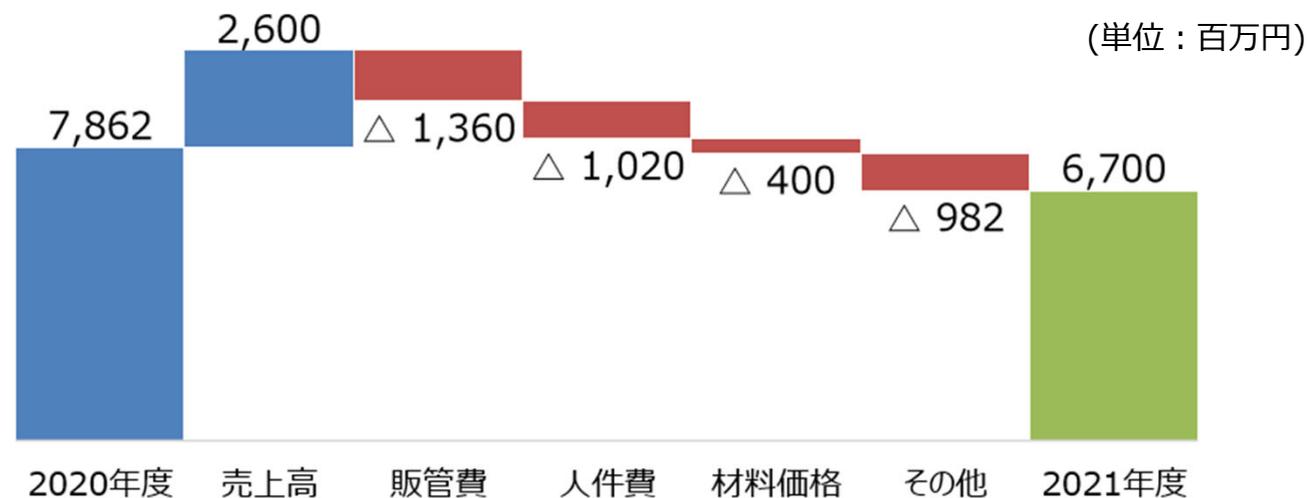
11. 22年3月期 事業セグメント別業績予想 〈チェーン〉16

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期		前期比	
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	61,312	33,000	32,800	65,800	7.3%
	営業利益	7,862	3,500	3,200	6,700	▲14.8%
	営業利益率	12.8%	10.6%	9.8%	10.2%	

〈営業利益の増減要因〉



〈売上高〉

- ・日本、欧州、環インド洋、中国などの拠点でコロナ影響からの回復を見込む。
- ・米国は、前年度の特殊要因（による特需）の反動減を想定。

〈営業利益〉

- ・生産改善活動を継続して実施するものの、コロナ禍で縮減した費用の戻り、米国の売上高減少（地域MIXの悪化）等もあり、減益を予想。

11. 22年3月期 事業セグメント別業績予想 <MC>

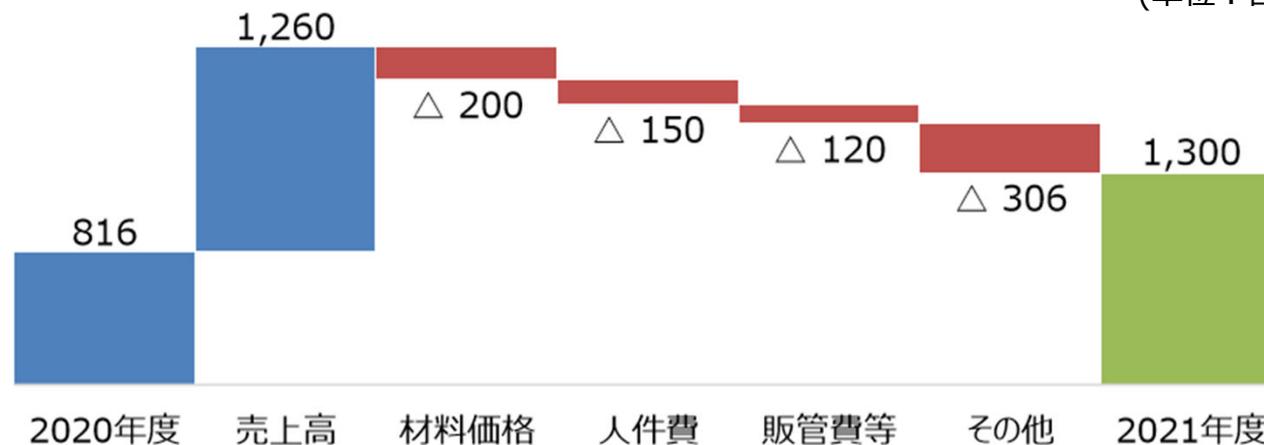
※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
MC (モーション コントロール)	売上高※注1	19,697	10,700	11,400	22,100	12.2%
	営業利益	816	400	900	1,300	59.3%
	営業利益率	4.1%	3.7%	7.9%	5.9%	

<営業利益の増減要因>

(単位：百万円)



<売上高>

- ・日本、米州、欧州、中国環インド洋、などの拠点でコロナ影響からの回復を見込む。
- ・自動2輪用スタータクラッチのモビリティ事業への移管分は、他の商品群でカバーし増収を想定。

<営業利益>

- ・コロナ禍で縮減した費用の戻りはあるものの、生産改善活動の継続実施などにより、増益を予想。

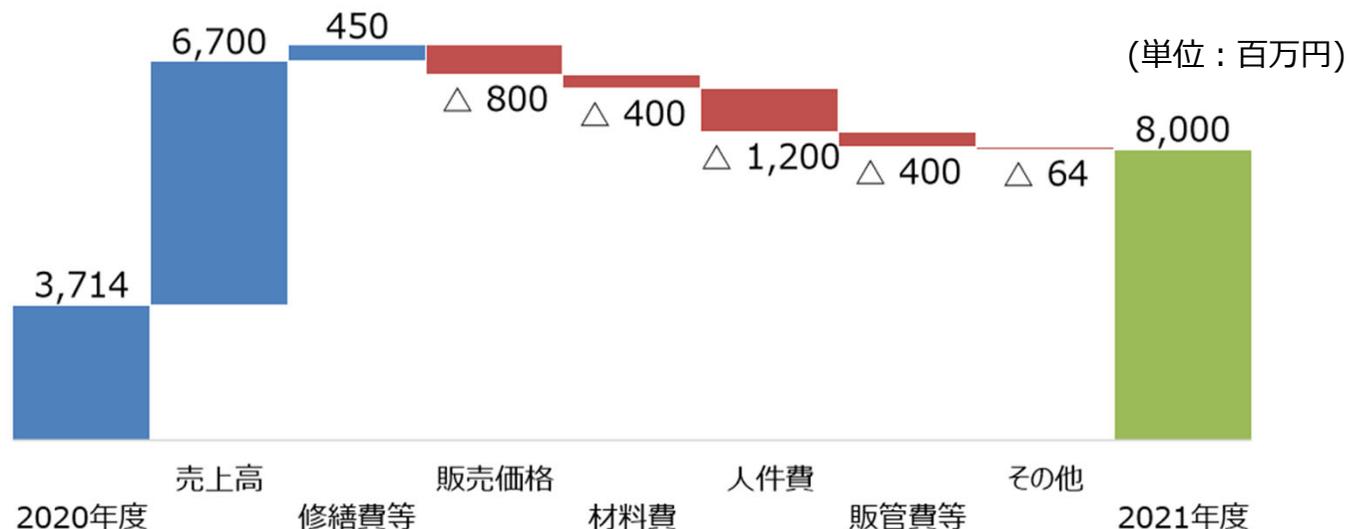
11. 22年3月期 事業セグメント別業績予想 <Mob> 18

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
モビリティ	売上高 ^{※注1}	57,777	36,000	36,300	72,300	25.1%
	営業利益	3,714	3,800	4,200	8,000	115.4%
	営業利益率	6.4%	10.6%	11.6%	11.1%	

<営業利益の増減要因>



<売上高>

- ・日本、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国の全拠点でコロナ影響からの回復を見込む。

<営業利益>

- ・コロナ禍で縮減した費用の戻りはあるものの、生産改善活動の継続実施や年間を通じて安定した生産が可能なることから、増益を予想。

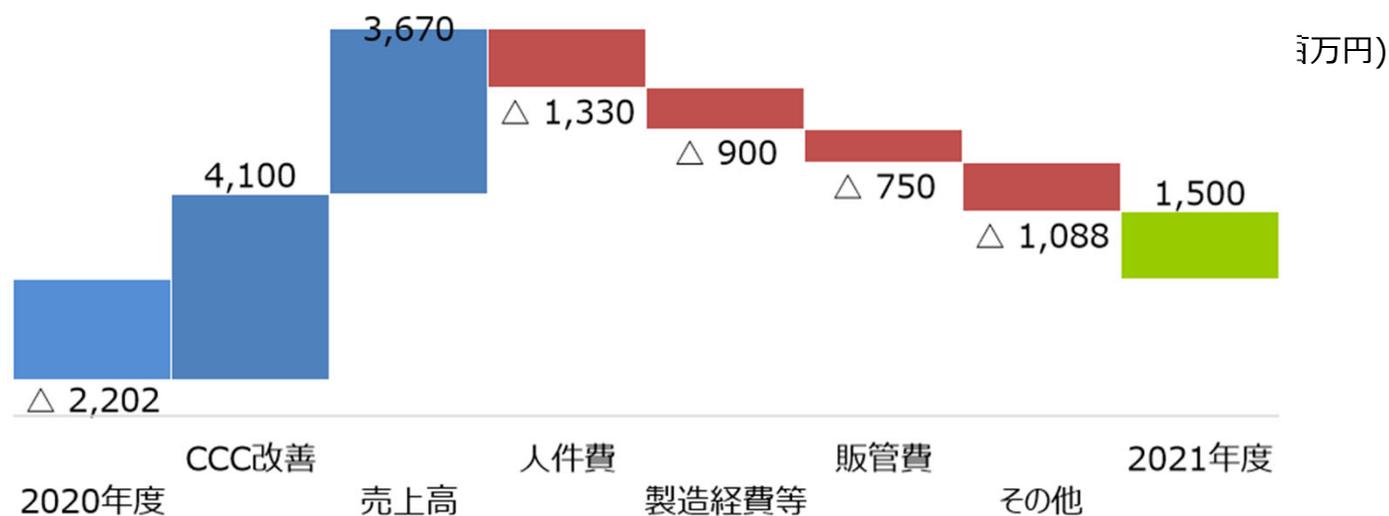
11. 22年3月期 事業セグメント別業績予想 〈マテハン〉 19

※注1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期		前期比	
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
マテハン	売上高 ^{※注1}	53,618	28,400	37,800	66,200	23.5%
	営業利益	▲ 2,202	100	1,400	1,500	—
	営業利益率	—	0.4%	3.7%	2.3%	

〈営業利益の増減要因〉



〈売上高〉

- ・日本、米国、欧州、中国の全拠点で、売上高の増加を想定。

〈営業利益〉

- ・コロナ禍で縮減した費用の戻りはあるものの、米国子会社の一過性の費用等がなくなることなどから、黒字化を計画。

12. 設備投資・減価償却費

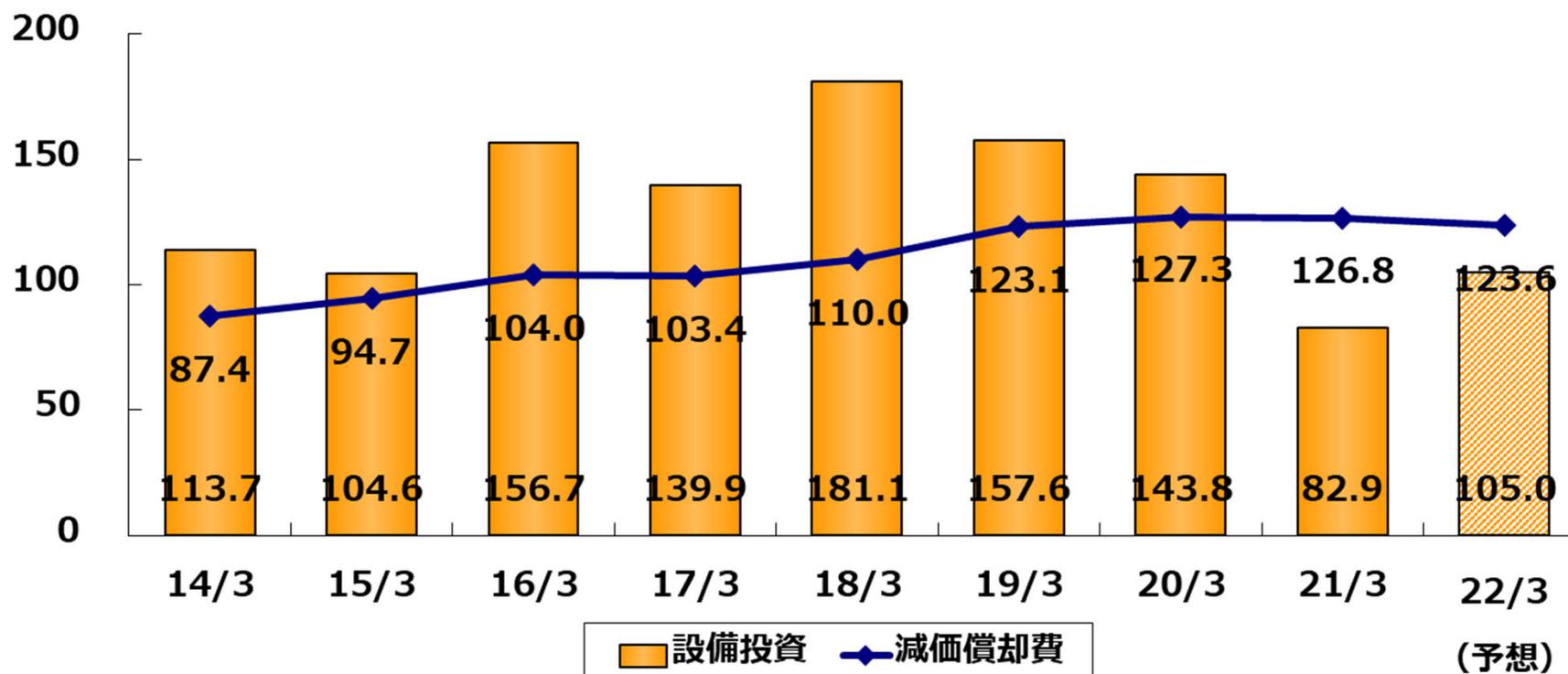
20

■ 成長力強化に向けた「資本投入」

- ・ 生産体制の自動化・効率化投資（全事業）

＜ 設備投資と減価償却費の推移 ＞

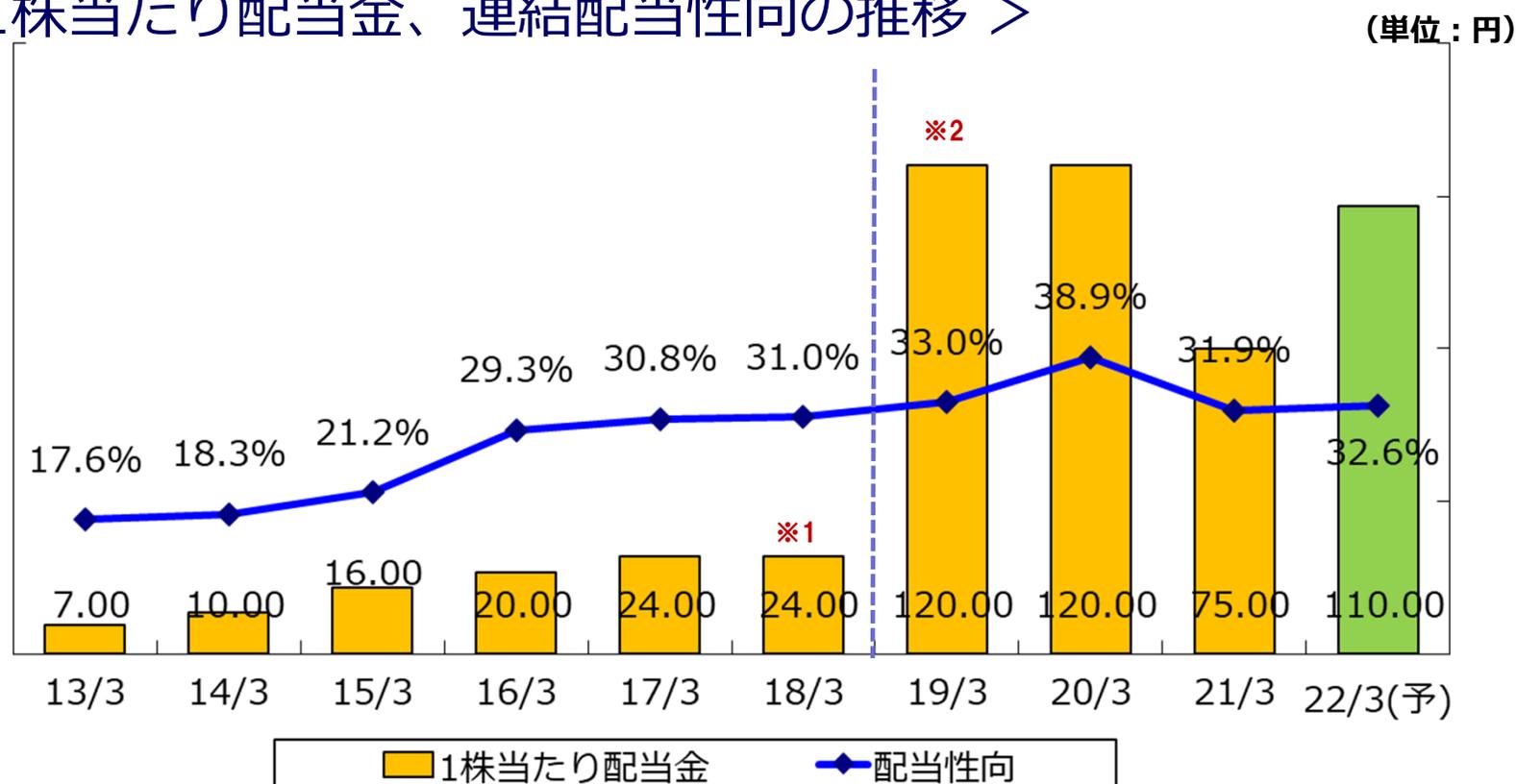
(単位：億円)



■ 配当方針

- ・ 連結業績を反映した配当を基本方針とし、
連結配当性向30%を基準とした利益配分を目指す。

< 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >

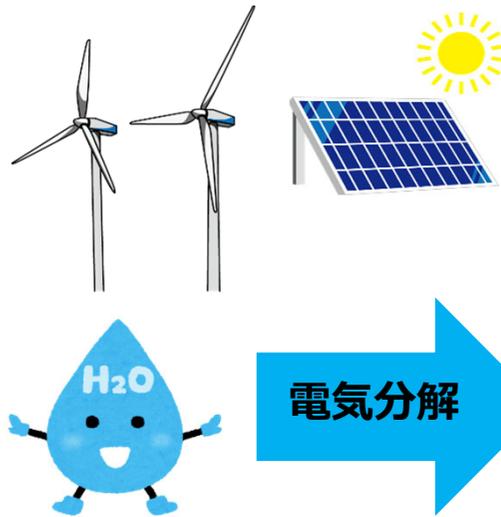


※1：100周年記念配「2円」を含む ※2：2018年10月に株式併合（5株→1株）を実施

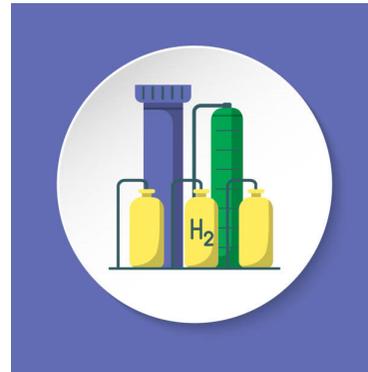
トピックス

14. 水素発 カーボンニュートラルICEの可能性 23

再生可能エネルギー



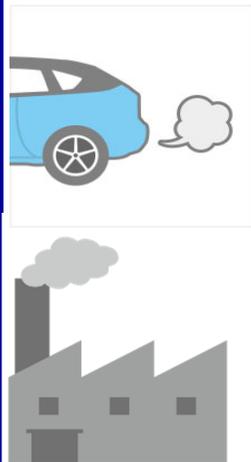
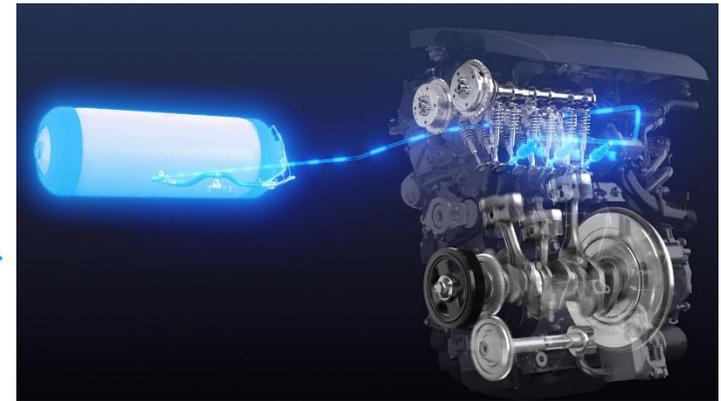
電気分解



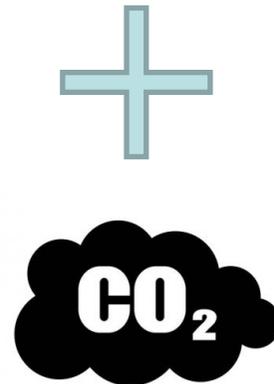
水素

水素エンジン (トヨタ自動車株式会社ホームページより)

燃料の供給系と直噴のインジェクターを水素用に変更し、スパークプラグも水素用に最適化したもの



採集



e-Fuel

e-Gasoline/e-Diesel

既存エンジン
既存インフラ
使用可能



本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。